平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月７日

上場会社名　　福山通運株式会社　　上場取引所　東・大
コード番号　　9075　　ＵＲＬ　http://www.fukutsu.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役　社長執行役員　　（氏名）小丸　成洋
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員　経理・財務担当　（氏名）桑本　聡　　ＴＥＬ　084-924-2000
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	186,817	△1.0	9,883	△12.9	10,672	△8.2	4,980	△27.4
24年３月期第３四半期	188,767	△2.7	11,347	△0.6	11,624	△6.8	6,861	△1.6

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　5,982百万円（△39.9%）　24年３月期第３四半期　9,960百万円（84.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	20.75	－
24年３月期第３四半期	27.96	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第３四半期	358,751	186,431	51.4	772.91
24年３月期	375,326	184,515	48.6	754.09

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　184,460百万円　24年３月期　182,263百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	5.00	10.00
25年３月期	－	5.00	－		
25年３月期（予想）				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	246,000	△1.0	11,300	△16.6	11,800	△16.4	5,100	△48.6	21.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　有
④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P. ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	278,851,815株	24年３月期	278,851,815株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	40,193,235株	24年３月期	37,151,189株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	240,065,941株	24年３月期３Ｑ	245,399,762株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や長期にわたる円高の影響等を受け、設備投資の減退や個人消費の低迷など力強さに欠ける状況で推移いたしてまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、先行き不透明な景気動向を反映し、依然、国内貨物総輸送量は低水準にとどまり、同業者間競争の激化に加え、燃料価格の高騰などにより厳しい経営環境下におかれてまいりました。

このような状況のもと当社グループでは、経営基盤の強化に向けて積極的な事業展開を図ってまいりました。

以上の結果、連結売上高は1,868億17百万円（前年同四半期比1.0％減）、営業利益は98億83百万円（前年同四半期比12.9％減）となり、経常利益は106億72百万円（前年同四半期比8.2％減）、四半期純利益は49億80百万円（前年同四半期比27.4％減）となりました。

これらを事業別に見た営業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、商業小口荷物の取り扱い強化に向けて諸施策を図ってまいりましたが、売上高は1,652億45百万円（前年同四半期比2.5％減）、営業利益は82億83百万円（前年同四半期比19.5％減）となりました。

流通加工事業におきましては、施設運営の効率化と収支構造の改善に取り組んでまいりましたが、売上高は81億円（前年同四半期比7.0％減）、営業利益は５億17百万円（前年同四半期比36.1％減）となりました。

国際事業におきましては、海外拠点の拡充により国際複合一貫輸送の強化に努め、売上高は45億61百万円（前年同四半期比136.7％増）、営業利益は３億12百万円（前年同四半期比13.1％増）となりました。

その他事業におきましては、コンビニエンスストア事業や施設賃貸事業が堅調に推移したこともあり、売上高は89億10百万円（前年同四半期比2.2％増）、営業利益は28億92百万円（前年同四半期比6.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて165億74百万円減少し3,587億51百万円となりました。これは主に、土地の増加などにより有形固定資産が44億86百万円増加したことや、投資有価証券の増加などにより投資その他の資産が14億49百万円増加した結果、固定資産が73億19百万円増加した反面、現金及び預金や有価証券の減少などにより流動資産が238億93百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて184億90百万円減少し1,723億20百万円となりました。これは主に、１年内返済予定の長期借入金や未払法人税等などの減少により流動負債が98億４百万円減少したことや、長期借入金が増加した反面、転換社債型新株予約権付社債などの減少により固定負債が86億86百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて19億16百万円増加し1,864億31百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加などによりその他の包括利益累計額が８億41百万円増加したことによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月６日の「平成25年３月期 第２四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ185百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,032	26,711
受取手形及び売掛金	34,102	34,922
有価証券	1,700	－
繰延税金資産	1,990	587
その他	3,232	3,088
貸倒引当金	△74	△219
流動資産合計	88,983	65,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	191,469	193,611
減価償却累計額	△126,496	△129,844
建物及び構築物（純額）	64,972	63,767
機械装置及び運搬具	55,348	56,344
減価償却累計額	△46,652	△48,163
機械装置及び運搬具（純額）	8,696	8,181
工具、器具及び備品	12,955	13,165
減価償却累計額	△10,911	△11,087
工具、器具及び備品（純額）	2,043	2,078
土地	178,594	184,620
建設仮勘定	1,484	1,631
有形固定資産合計	255,791	260,278
無形固定資産	2,345	3,728
投資その他の資産		
投資有価証券	23,371	24,709
繰延税金資産	1,318	1,453
その他	3,681	3,619
貸倒引当金	△166	△127
投資その他の資産合計	28,205	29,654
固定資産合計	286,342	293,661
資産合計	375,326	358,751

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,897	18,763
短期借入金	11,913	11,900
1年内返済予定の長期借入金	9,332	4,466
リース債務	1,958	1,753
未払法人税等	5,150	1,355
賞与引当金	3,066	1,117
その他	15,796	16,954
流動負債合計	66,115	56,310
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	37,851	20,000
長期借入金	34,326	43,437
リース債務	2,211	941
再評価に係る繰延税金負債	27,643	27,579
退職給付引当金	15,237	16,016
債務保証損失引当金	115	14
負ののれん	121	85
その他	7,187	7,934
固定負債合計	124,695	116,009
負債合計	190,811	172,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	37,102	37,102
利益剰余金	96,487	99,182
自己株式	△15,975	△17,314
株主資本合計	147,925	149,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,585	4,543
土地再評価差額金	30,754	30,638
為替換算調整勘定	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	34,338	35,179
少数株主持分	2,251	1,970
純資産合計	184,515	186,431
負債純資産合計	375,326	358,751

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	188,767	186,817
売上原価	174,301	172,622
売上総利益	14,466	14,195
販売費及び一般管理費	3,118	4,311
営業利益	11,347	9,883
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	399	449
負ののれん償却額	36	36
補助金収入	72	470
その他	280	295
営業外収益合計	796	1,264
営業外費用		
支払利息	377	336
金利スワップ評価損	49	－
その他	92	139
営業外費用合計	519	475
経常利益	11,624	10,672
特別利益		
固定資産売却益	18	2
負ののれん発生益	408	268
債務保証損失引当金戻入額	－	3
特別利益合計	427	274
特別損失		
固定資産売却損	51	0
固定資産除却損	242	319
減損損失	55	474
投資有価証券評価損	279	227
投資有価証券売却損	17	0
ゴルフ会員権評価損	0	0
厚生年金基金脱退拠出金	－	934
特別損失合計	647	1,956
税金等調整前四半期純利益	11,404	8,991
法人税、住民税及び事業税	4,332	2,935
法人税等調整額	266	1,036
法人税等合計	4,598	3,972
少数株主損益調整前四半期純利益	6,805	5,019
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△55	38
四半期純利益	6,861	4,980
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△55	38
少数株主損益調整前四半期純利益	6,805	5,019

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△792	963
土地再評価差額金	3,948	－
為替換算調整勘定	△1	△0
その他の包括利益合計	3,154	962
四半期包括利益	9,960	5,982
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,033	5,938
少数株主に係る四半期包括利益	△72	43

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	運送事業	流通加工事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	169,410	8,709	1,927	180,047	8,720	188,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	6,779	6,779
計	169,410	8,709	1,927	180,047	15,499	195,547
セグメント利益	10,293	810	276	11,380	3,090	14,470

（注）「その他」には、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業（委託業務）等を含んでおります。

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	11,380
「その他」の区分の利益	3,090
全社費用（注）	△3,123
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	11,347

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
報告セグメントに係る事項はありません。なお、当第３四半期連結累計期間において、特別損失に計上しております減損損失55百万円は、いずれの報告セグメントにも配分されていない遊休資産に係るものであります。

（重要な負ののれん発生益）
「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより408百万円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	運送事業	流通加工事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	165,245	8,100	4,561	177,907	8,910	186,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	6,817	6,817
計	165,245	8,100	4,561	177,907	15,727	193,634
セグメント利益	8,283	517	312	9,113	2,892	12,006

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業（委託業務）等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	9,113
「その他」の区分の利益	2,892
全社費用（注）	△2,122
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,883

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「運送事業」セグメント及び「流通加工事業」セグメントにおいて営業活動から生じる損益の継続的なマイナス、又は地価の著しい下落が認められる資産グループについて、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該特別損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては、「運送事業」が156百万円、「流通加工事業」が２百万円であります。また、報告セグメント以外の減損損失の計上額は315百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「運送事業」セグメントにおいて、絹川屋運送株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては846百万円であります。

（重要な負ののれん発生益）

「運送事業」セグメントにおいて、連結子会社が当該会社の自己株式を取得したことにより268百万円の負ののれん発生益を計上しております。